

SHIRAKOBATO

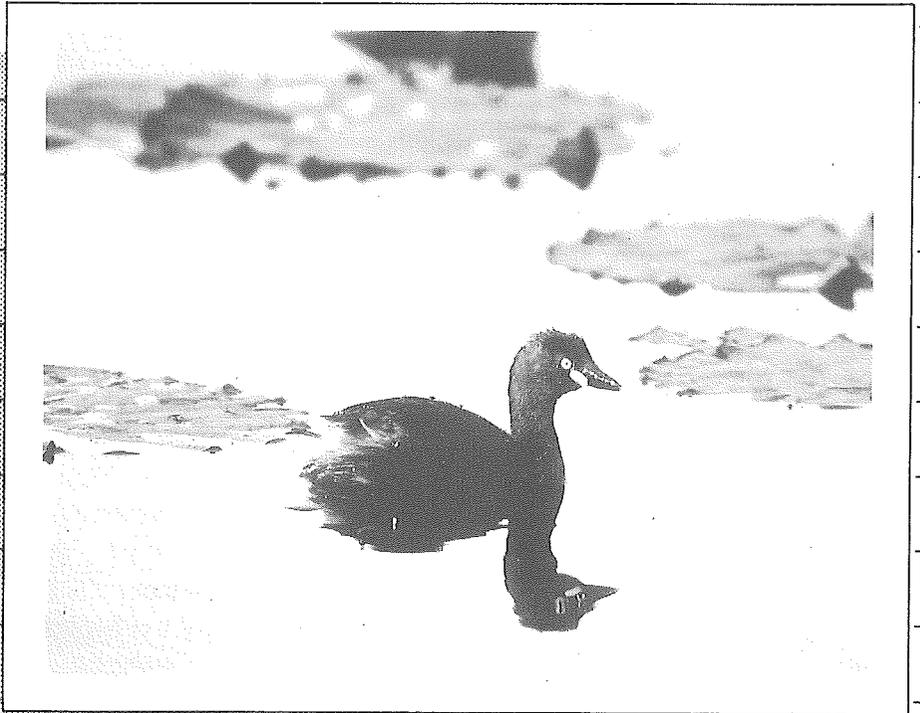
しらこぼと



1994. 5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 121

日本野鳥の会 埼玉県支部

探聴の楽しみ

森野洋一郎 (渋川市)

探鳥ではなく“探聴の楽しみ”で、と電話をもらい、自分なりに少し関わっていきそうな“聴”について書いてみます。

バードウォッチングでは見る事が主で、鳴き声まで楽しむ事はそう多くなく、特に参加者が多い時、全員見られる様にするのは大変です。その点“探聴”の場合は大丈夫、目の不自由な方でも楽しめます。

私がフィールドにしているのは県立伊香保森林公園で、入門したての頃は“聴”の方まで余裕がありませんでしたが、近い事もあって何度か通う内に、ちょうど夜明けのコーラスに出くわし、これが“聴”へ入り込んだきっかけかも知れません。

年によって変化はありますが、その時間になると山や谷全体が鳴き声で埋め尽くされ、“すばらしい”の一語で、病みつきになるのに時間は不要でした。またこの臨場感を家に

持ち込むため、録音も同時進行した事は言うまでもありません。

春、3月に入り暖かい日は、まだ雪が残っている中でミソサザイが囀り、ケラ類もドラミング。ウソの声がする方を見ると枝を伝って流れる雪解け水で喉を潤していたり、カラは鳴き声に変化が出始め、春に備えて本来の囀りに戻っていく感じ。渡りの仲間も群れも大きく賑やかになっています。

4月、夜は低音かつ大声のフクロウが遠くからでも良く響き、時々♀の奇怪な声が聴こえたり、日中は、ちょっと物悲しい感じのルリビタキ。中旬になるとコマドリ、飛来を待ちわび、初鳴きを聴く時は思わず笑みが浮かび、一日中いい気分になります。

こうなると夜明け前に録音の準備等で車中泊もあり、春とは言え目が覚めるとマイナス5度位になっていたり、山の朝はとても寒い。 “聴”のハイライト夜明けのコーラスは昨年案内したグループを思い出して…。

3時少し前に市内で集合。探聴地点の入口である山の駐車場へ3時過ぎに到着。暗い中ジュウイチ、フクロウ、ホトトギス、トラツグミ、ヨタカのお出迎え。防寒の用意が出来るかとライト片手に出発。天頂には白鳥座、わし座、etc、天の川と、もう別世界。まもなく目的地へ到着し各自適当な所へ朝露よけのマットを敷いて、夜明けを待ちます。程なく夜鳴く鳥に混ざり、ルリビタキ、コルリ、コマドリ、ヤブサメ、アカハラ、マミジロ、etc、と数を増し、頭上の木には金属的な声のマミジロが止まって鳴き交わり、尾根で鳴くツツドリは谷全体に余韻を残して響き渡り、もう最高です。

コーラスが一段落した頃は明るくなり、車へ戻っての朝食も野鳥のBGMを聴きながらパクパク。休憩した後は、ちょうどツツジが満開で、探鳥かねての散策となり楽しい一日を過ごしました。

さて今年はどうな“鳥” + “聴”になるのでしょうか。



アオゲラ (森野洋一郎)

録音の楽しみ

立岩恒久(桶川市)

野鳥の声の録音との最初の出会いは、今から17年ほど前、生の野鳥の声ではありませんが、NHK-FMで毎日曜日「朝の小鳥」と題して放送されたものを毎回テープに録音し、図鑑とにらめっこして、さえずりと野鳥の姿を結びつけるように勉強してきた事に始まります。

この番組は、主だった野鳥3種について、さえずりと聞きなしなどを詳細に解説していました。例えばサンショウクイでは、「鳴き声がまるでサンショウの実を食べた時のように“ヒリヒリ、ヒリヒリ”と聞こえ、サンショウクイと名付けられたといわれています。日本でひなを育てる夏鳥のうちでは比較的早く渡って来て、野山を飛びながら盛んに鳴くのです……」と、こんなふうな。

その後に、収録した場所と、野鳥たちの夜明けのコーラスが続きます。その場所の紹介でも、私は野鳥の楽園をいくつか知ることができました。霧島山麓の御池野鳥の森、奄美大島金作原への林道などは、いつかは出かけてアカヒゲやアカショウビンの声を録音して来たいと、今でも記憶に残っています。

次に、生の野鳥の声の録音の話に行きましょう。私は、桶川市に来る前は国立市に住んでいましたので、休日の朝には、一番電車でもよく高尾山に野鳥の声の録音に出かけたものです。

1号路から北側では、蒲谷鶴彦さんもよくなげいておられますが、中央高速道を走る車



オオルリ (宇恵 昭良)

の音が入るので、私は6号路とか旧道を登って、2号～3号路を歩いていました。“ポッピリピー”のキビタキ、最後に“ジッジッ”と鳴くオオルリ、“キョコキョコクケクケ”のクロツグミなどの名テナーたちの歌声の競演が、新緑の谷間にこだまします。

昨年久しぶりに登って、オオルリの少なくともったには驚きました。悲しいことです。

昨年6月、榛名湖畔でアカヒゲのさえずりを聞いた時には驚きました。ところが聞いているうちに、急に“イーコイルー”とイカルの声に変わったり、時々“クケクケ”とやっているの、クロツグミの仕業とすぐに分かりました。きっとこのクロツグミは、奄美大島を渡ってくる時にアカヒゲの声にうっとりして、それをインプットしてきたのでしょう。

最後に、実際に録音してみて気付いた事をいくつか書きましょう。

○野鳥のよくさえずる時間帯は、夜明け前から6時までである事。

○とにかく雑音が多い事。……道路を通る車の音、谷川のせせらぎ、上空から降る航空機の音、自分の歩く足音、おなかの虫(ゲージ)、風の音、虫(ハエ、ブヨ)の羽音など。

マイクを録音機から離すなどの工夫もありますが、雨降りの時はもちろんまったく録音にはなりません。

今の私は、野鳥のコーラスを聞きに、戸隠高原に行く事を楽しみにしています。



キビタキ (林 滋)

1994年ガン・カモ・ハクチョウ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1月15日、県内一斉ガン・カモ・ハクチョウ類調査が実施されました。当日は快晴に恵まれ、少し北風が寒いものの絶好の調査日和となりました。今年も狭山湖と昭和池については会員の方々の参加をいただき、他地区はそれぞれ調査員をお願いし、県内で22ヶ所、35名の方の御協力を得ました。

調査地毎の1994年カウント結果と1982年からの合計値の推移(表)と1982年からの県内集計数の推移(図)を示します。今年はツクシガモが記録されましたが、マガンとアカハジロは見られませんでした。図において、1989年新たに完成した渡良瀬川遊水地・貯水池を除いた1990年調査地を対象とした集計値は、今年は昨年に比べてかなり増加していますが、1985年をピークとする減少傾向が続いていると考えられます。渡良瀬を含めた県内全集計値も昨年に比べて増加して横這いの

傾向にあります。調査地点の増加の影響を除くため1990年調査地について比較した場合は減少の傾向を示しています。

調査に参加いただいた皆様、ありがとうございました。(執筆 三田長久)

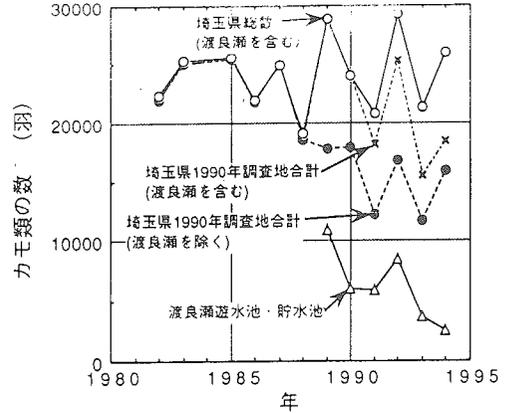


図 カモ類の合計値の年変化

表 1994年カウント調査結果と過去の

調査地	人間川	荒川				古利根川	利根川	渡良瀬川	宝蔵寺沼	狭山湖	小畔川 調整池	百穴沼	武蔵丘陵 森林公園	大沼公園	県立 農林公
調査範囲	豊水橋～ 新富士見 橋	荒川鉄橋 ～戸田橋	遠清(荒川 第一調整 池)	秋ヶ瀬橋 ～ 羽根倉橋	荒川天橋 明戸せき	寿橋～ 堂面橋	飯東天橋 下流	遊水池 貯水池				大沼	山田大沼	大沼	芳沼
地域	狭山市	川口市 戸田市	戸田市	浦和市	江岸町 熊谷市	越谷市 松伏町	本庄市	北川辺町	羽生市	所沢市	川越市	吉見町	滑川町	江南町	川本町
コハクチョウ					98										
ツクシガモ							1								
オシドリ													40		29
マガモ			137	13	324	2	394	646	3	396	33	928	3,213	30	17
カルガモ	37	32	197	26	36	148	523	1,724		71	5	3	510	119	33
コガモ	143	21	258	36	632	182	596	49	20	369	140	122	124		
トモエガモ			4				1								
ヨシガモ			1												
オカヨシガモ	2				3		84								56
ヒドリガモ		73	271			407	18	149			145		2		
アメリカヒドリ								1							
オナガガモ	34	203	168	16	157	1,256	475	9			336	46	34	8	22
ハシビロガモ	7		93	3	5	9	23			4		44			4
ホシハジロ		83	236	29	7	2	12					35	102	19	47
キンクロハジロ	5	3	54	18	5								4		6
ホオジロガモ										2					
ミコアイサ			48									1			
カワアイサ							23								
カモSP															
種類 合計	6	6	11	7	9	7	11	6	2	6	5	7	8	5	1
調査者数	228	415	1,467	141	1,267	2,006	2,150	2,578	23	848	659	1,179	4,029	232	1,633
1982年合計	—	1,831	—	724	408	362	—	—	—	4,709	—	445	7,897	—	—
1983年合計	—	2,223	—	770	339	470	—	—	—	6,449	78	168	8,323	—	—
1985年合計	—	903	—	—	133	—	6,284	—	—	4,017	—	—	6,065	—	—
1986年合計	—	955	—	1,317	37	—	1,763	—	—	2,955	—	2,131	6,418	—	—
1987年合計	—	741	—	500	24	729	3,210	—	—	3,170	—	2,048	6,814	—	—
1988年合計	—	712	—	543	457	718	3,483	—	—	1,692	—	965	3,367	—	—
1989年合計	589	467	—	625	162	469	3,148	10,890	—	664	—	627	3,375	—	—
1990年合計	332	930	—	305	—	638	1,400	6,110	—	1,071	702	1,453	4,900	—	—
1991年合計	433	227	1,019	28	772	497	2,136	5,879	—	1,132	—	486	2,786	230	55
1992年合計	250	1,045	966	98	1,713	605	2,367	8,486	—	861	716	1,276	4,590	225	—
1993年合計	170	750	1,270	135	1,889	585	1,275	3,713	—	528	396	676	2,899	113	1,02

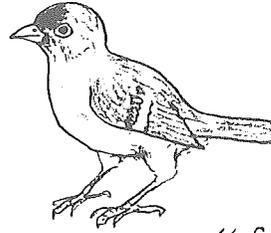
ベニヒワと感激の出会い
陶山和良 (浦和市)

三室探鳥会で、小耳にした「今、ベニヒワが秋ヶ瀬のピクニックの森に来ているヨ」との話信じ、翌日の午後自転車でぶらりと出かけました。

自転車を公園脇の草むらへ放置し、歩き出した。羽根倉橋近くの雑木に囲まれた枯草地に、焦点を合わせたカメラ4台の放列を発見。さては、と、私も無言でそのうしろに立ち、待つこと40分。「アオジだ」「カシラダカか」……しばしの沈黙。いつの間にか、カメラも6台に。その時、「来た」。声を殺した喜びの声。

頭上の小枝に小さな姿。枝づたいに、地面に降りて来た小鳥。正にベニヒワだ。真赤な頭に黄色の嘴。羽根にはまさしく白い線もある。待ちに待ったウォッチャー達、静かにカメラアングルのいいポジションとりに懸命。

ベニヒワは、我関せずと、悠々と地面で餌をついばむ。私はただ双眼鏡のレンズの向こう



K.S

に見えるベニヒワとの出会いの感激に、我を忘れる。ふと気がつくと、なんと周囲には30数名のウォッチャーが。その中に、昨日顔を合わせたばかりの三室探鳥会の面々の顔も見え、誠にうれしい春分の日の午後の一時でした。

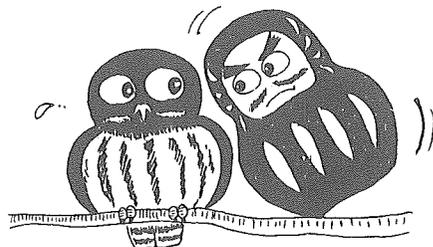
銚子港探鳥会に参加して
鈴木博志 (伊奈町)

1月29・30日、晴れ上がった雪景色の中、総勢22名は風と寒さにもめげず、しっかりと45種をチェック。カモメ以外でも予期せぬ珍しい海鳥に出会えた楽しい旅でした。

カモメ類は初めての私は、その数の多さに圧倒され、初めの内は識別が出来ませんでした。リーダーから幼鳥は捨て成鳥だけを見ること、大型カモメは足が桃色、小中型カモメは黄色か赤色であることなどのアドバイスを受けてからは楽に識別出来るようになり、またセグロカモメとオオセグロカモメ、シロカモメとワシカモメの違いも教えられ、普通種8種の識別がマスター出来ました。

カモメ以外では白斑鮮やかなシノリガモ、波崎港でのビロードキンクロ、犬吠埼の荒波に盛んにダイビングするウミスズメとオオハムSP、海浜公園での待望のミヤコドリなど。この旅で私は11種を増やすことができました。

車中でのプロ級の鳥ビデオや夕食後の鳥談議も興味尽きないものでした。何よりも鳥を愛する方々と知り合いになれ親交を深められたことが一番の成果でした。



合計数の推移

昭和池	さきたま古墳	白輪沼	大宮公園	栄中学 櫛の池	深作川 遊水池	柳瀬川 富士見橋 栄橋 富士見市 志木市	1994.1.15 埼玉県 支部 総合計
			ポート池				98
葛瀬公園							1
久喜市	行田市	浦和市	大宮市	大宮市	大宮市		41
							8,124
							5,155
							4,434
							16
							6
							159
							2
							1,603
							4,075
							389
							1,460
							221
							2
							49
							23
							1
							18
							25,859
							35
							22,061
							25,286
							25,476
							21,838
							24,866
							18,992
							28,839
							23,728
							20,668
							29,053
							21,291

アオサギ ◇1月6日、越谷市内の東武伊勢崎線元荒川鉄橋下の元荒川の流れの中央で1羽(石川敏男)。◇2月8日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で1羽(古澤紀)。

トモエガモ ◇2月3日、本庄市の阪東大橋下流で♂7羽♀6羽(井上幹男)。◇2月19日、戸田市道満荒川第一調節池で♂1羽♀2羽(有山智樹)。◇2月19日、北本市石戸宿の自然観察公園で♂1羽(古澤紀)。

ヨシガモ ◇2月19日、戸田市道満荒川第一調節池で♂1羽(有山智樹)。

オカヨシガモ ◇1月30日、富士見市の柳瀬川富士見橋～高橋間で♂1羽(中村治)。

アメリカヒドリ ◇1月30日、富士見市の柳瀬川富士見橋～高橋間で♂1羽(中村治)。

ホオジロガモ ◇2月26日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽(井上幹男)。

オジロワシ ◇2月5日、深谷市の上武大橋下流で1羽。上空を旋回する(井上幹男)。

オオタカ ◇1月29日、大宮市日進1丁目で見鳥1羽。カラス2羽にモビングされ飛び去る(浅見健一)。◇2月3日、本庄市の阪東大橋下流で若鳥1羽。2月20日、同所で成鳥1羽(井上幹男)。◇2月20日、深谷市の上武大橋下流で若鳥1羽(井上幹男)。

ノスリ ◇2月11日、戸田市道満の荒川土手上空で2羽(森永徳一)。

ハヤブサ ◇2月11日、戸田市道満荒川第一調節池、中央橋の上で1羽(森永徳一)。
◇2月27日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。

コチョウゲンボウ ◇2月26日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。

チョウゲンボウ ◇2月7日、杉戸町の大島新田遊水池で1羽(秋間利夫)。◇2月11日、浦和市の武蔵野線荒川鉄橋で2羽(森永徳一)。

クイナ ◇2月19日、北本市石戸宿の自然観察公園で1羽。アシ原の中からバンと共に現れる(古澤紀)。

コチドリ ◇2月3日、幸手市権現堂堤の中川で6羽(秋間利夫)。

イカルチドリ ◇2月3日、幸手市権現堂堤の中川で2羽(秋間利夫)。◇2月8日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で15～20羽。日増しに数が増すようだ(古澤紀)。

タゲリ ◇1月30日、毛呂山町市場の埼玉高校の前の野原で2羽(増尾隆・節子)。◇2月1日、浦和市秋ヶ瀬のゴルフ場裏側の駐車場の芝生の上で1羽(滝田恵美子)。

オジロトウネン ◇2月3日、幸手市権現堂堤の中川で1羽(秋間利夫)。

ハマシギ ◇2月2日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で25羽(古澤紀)。

タシギ ◇2月3日、幸手市権現堂堤の中川で3羽(秋間利夫)。

ヒメアマツバメ ◇2月2日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で1羽。堰の上を飛び回り空中採餌をしていた。2月27日、同所で約50羽。低空を飛び回り、目の前まで近づいてきて驚きました(古澤紀)。

コミミズク ◇2月7日、幸手市戸島で2羽(秋間利夫)。◇2月19日、戸田市道満調節池で1羽(有山智樹)。

フクロウ ◇2月19日午後7時30分、大宮市で声を数回聞く(兼元義裕)。

アオゲラ ◇1月3日、寄居町鉢形の荒川正喜橋下流で♀1羽(浅見健一)。◇2月8日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で堰の下の木で♀1羽。堰の上の木では♂1羽(古澤紀)。

イワツバメ ◇2月19日、富士見市水子の田んぼ上空で2羽。北西に向かって飛んでいく(中村治)。

ハクセキレイ(ねぐら) ◇2月夕暮れ、JR上尾駅西口ロータリーの大きなくすの木で数百羽(小貝喜久司)。

ビンズイ ◇1月16日、大宮市日進1丁目で見鳥3羽(浅見健一)。◇1月22日、熊谷市月見町の社宅の庭で1羽。いつもと違う声があるので、双眼鏡を持ってベランダに出ると、ジョウビタキとともに飛び立った。つぼみのふくらみかけた梅の木でしばらく鳴いていたがいつこともなく飛び去った(菱

沼一充)。

ルリビタキ ◇1月29日、坂戸市城山で♂1羽、♀1羽、幼鳥♂1羽(増尾隆・節子)。

アカハラ ◇2月1日、浦和秋ヶ瀬のゴルフ場裏側の駐車場で4羽(滝田美恵子)。◇2月8日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で1羽(古澤紀)。◇2月13日、大宮市日進1丁目で♂1羽(浅見健一)。

シロハラ ◇1月29日、坂戸市城山で1羽(増尾隆・節子)。◇2月1日、浦和市秋ヶ瀬のゴルフ場裏側の駐車場で1羽(滝田美恵子)。◇2月13日、大宮市日進1丁目でも2羽。稍で2羽で争う(浅見健一)。◇2月18日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(有山智樹)。

ツグミ ◇2月11日、大宮市三橋1丁目の大平公園わきの大木の枝で25羽の群れ。群れで見るのは初めて(浅見健一)。

ヒガラ ◇2月27日、大宮市日進1丁目でシジュウカラ、メジロの群れ中に1羽(浅見健一)。

コガラ ◇1月16日、大宮市日進1丁目で1羽。シジュウカラと一緒に行動していました(浅見健一)。

ヤマガラ ◇1月22日、秩父市の羊山公園で2羽(山岸昭治)。

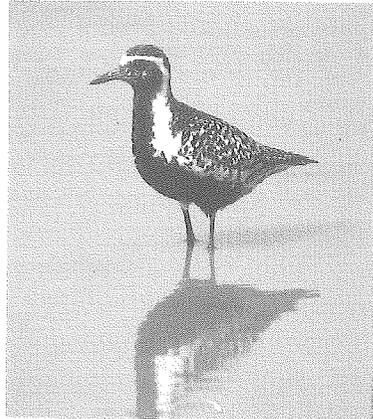
ツリスガラ ◇2月19日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(有山智樹)。

コジュリン ◇1月20日、幸手市戸島で3羽(秋間利夫)。◇2月18日、戸田市道満荒川第一調節池で♂2羽♀6羽(有山智樹)。

ホオアカ ◇2月18日、戸田市道満荒川第一調節池で5羽(有山智樹)。

カシラダカ ◇1月22日、秩父市の羊山公園で100羽以上(山岸昭治)。

ミヤマホオジロ ◇1月22日、秩父市の羊山



ムナグロ(登坂久雄)

公園で♂3羽♀1羽(山岸昭治)。

クロジ ◇2月8日、入間市の入間川豊水橋上流、笹井堰で♂♀各1羽。♂は堰の下の竹やぶでミミズを食べていた。♀は5mほど横の笹やぶの下で餌をついばんでいた(古澤紀)。

オオジュリン ◇1月20日、幸手市戸島で20羽以上(秋間利夫)。◇2月11日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で4羽(森永徳一)。

アトリ ◇1月22日、秩父市の羊山公園で約50羽の群れ。やっと来ました(山岸昭治)。

ベニマシコ ◇1月22日、秩父市の羊山公園で♂2羽♀1羽。使われなくなった桑畑の中の枯れ草の上にながら来てくれる。双眼鏡の視野いっぱいには3羽が並んで、朝日に映えて美しい(山岸昭治)。◇2月19日北本市石戸宿の自然観察公園で♂1羽(古澤紀)。◇2月27日、深谷市の上武大橋下流で♂♀各1羽(井上幹男)。

イカル ◇1月3日、寄居町鉢形の荒川正喜橋下流の斜面林で8羽(浅見健一)。

カケス ◇1月22日、秩父市の羊山公園で3羽(山岸昭治)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト 1993 入選作

カイツブリ(カイツブリ科)

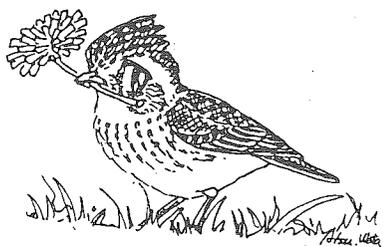
カイツブリは5月頃に繁殖期を迎える。当然もっとも活動的で、けたたましく鳴き、湖面を滑るように泳ぎ、そしてあっと言う間に潜る。水中での動きは、水面の波から察することができる。小魚をくわえ、あるいは菜材

を運び、浮上する。

羽毛の光沢は水をはじき、黄色い鋭い眼光、くちばし基部の黄色いマークも、この季節にもっとも目立ち、美しい。

宇賀神若人(朝霞市)

行事あんない



(渡辺 敦)

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月8日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03
発に乘車

担当：菱沼(一)、森本、関口、菱沼(洋)、斎藤、塚本、中島(章)、小池、和田、石井(博)

見どころ：100回記念の探鳥会。92年の三室に続いて大麻生も100回目を無事に迎えることになりました。その間、ゴルフ場ができるなど環境は大きく変わりました。しかし野鳥達の生活の場であることには変わりありません。今後、当地での探鳥会をますます有意義なものとして皆で育ててゆきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

お知らせ：探鳥会の後、記念の野外パーティー(希望者のみ、会費300円)を開催します。当日は電車でお越し下さい。飲物と昼食は各自ご用意してください。

アズ熊谷で記念パネル展も開催!

東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：5月13日(金)夜行~15日(日)

定員に達しましたので締め切りました。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：5月15日(日)

集合：午前8時45分 JR宇都宮線蓮田駅東口
(集合後バスで現地へ)

担当：中島(康)、浅田、入山、小林

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

(恒)、中村(栄)、吉安

見どころ：薫風五月の好季節!田圃にたたくむ夏羽のムナグロ、黄金色の斑点が輝きます。亜麻色のアマサギも定番です。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：5月15日(日)

集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口、集合後バスで現地へ。東武バス廃止のため十王バス乗車で「阪東大橋南詰」下車

担当：町田、菱沼、林(滋)、小淵、小野沢、関根、中島(章)、小池、石井(博)、和田

見どころ：去年のシギ・チドリは大当たり。今年もツバメチドリ、アカエリヒレアシシギにまた遭いたいですネ!

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：5月15日(日)

集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場

交通：JR高崎線上尾駅西口4番バス乗場より西上尾車庫行き(畔吉廻り)7:07発に乘車、「前原」下車徒歩10分

解散：午前11時頃

担当：立岩、吉原、阿久沢、丹、永野(安)、永野(京)

見どころ：この季節ならではのお客様で、“早起きは三文の得”を実証し続ける早朝探鳥会です。今年はどうな夏鳥のさえずりが聞こえるでしょうか。

浦和市・三空地区定例探鳥会

期日：5月15日(日)

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、伊藤、田口、岡部、嶋田、倉林
見どころ：青葉の季節になりました。カッコウが斜面林で鳴き、芝川にキアシシギ・バン・コチドリ、葦原ではオオヨシキリのさえずる初夏の鳥見です。

栃木県・奥日光探鳥会（要予約）

期日：5月21日（土）
定員に達しましたので締切りました。

狭山市・人間川定例探鳥会

期日：5月22日（日）
集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口
交通：西武新宿線所沢8:45発、本川越8:43発に乘車、JR川越線大宮駅からは川越駅下車、徒歩約10分で本川越駅へ。
解散：正午頃、稲荷山公園
担当：長谷部、三田、石井（幸）、佐久間、柳原、小野、中村（祐）、山本
見どころ：夏服に衣替えしたコサギやカイツブリ、新緑のなかでさえずるシジュウカラ達が日頃のストレスを忘れさせてくれます。

川口市・差間探鳥会

期日：5月22日（日）
集合：午前9時 JR武蔵野線東浦和駅前
解散：東浦和駅近くのグラウンド
担当：手塚、伊藤、笠原、田口
見どころ：新しい茎が伸びたアシ原はオオヨシキリの独壇場。運がよければヨシゴイにもお目にかかれますヨ！

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月28日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局 108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：5月28日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

大宮市・大宮市民の森探鳥会

期日：5月29日（日）
集合：午前8時10分 JR宇都宮線土呂駅東口または午前8時30分 市民の森入口前（土呂駅東口より東へ徒歩5分）
担当：林（慎）、松井、藤原、桜庭、工藤、新堂、中村（榮）
見どころ：賑やかなオオヨシキリの声の中、初夏を告げる鳥カッコウの姿を探しながら芝川縁をのんびりと歩きましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：5月29日（日）
集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前
交通：JR宇都宮線大宮8:01発→栗橋8:30着東武日光線乗換8:52発→柳生9:02着
担当：中島（康）、松井、吉原、五十嵐、入山、篠原（五）
見どころ：初夏の遊水池天空にサシバが飛翔、草原では、オオヨシキリ・コヨシキリ・カッコウも鳴いて気分は最高！

大滝村・三峰神社探鳥会

期日：5月29日（日）
集合：午前10時 三峰山ロープウェイ山頂駅前
交通：秩父鉄道熊谷7:16→寄居7:50→影森8:35→終点下車、バスにてロープウェイ入口下車、9:50発ロープウェイに乗車。
担当：田口、林（滋）、菱沼（一）
見どころ：夏鳥の季節！オオルリ・キビタキ・コルリなどの鳥たちが美声を楽しませてくれます。山道を歩く健脚コースです。足もとの準備はしっかりと。

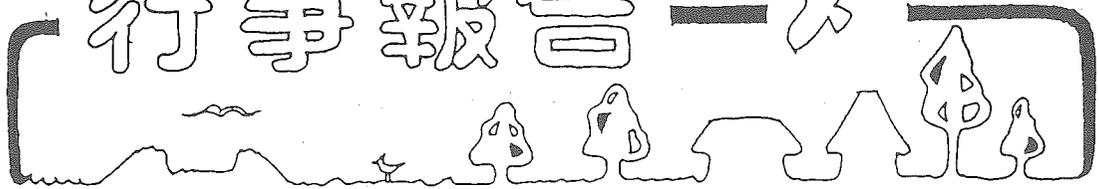
茨城県・浮島湿原探鳥会（要予約）

期日：6月4日（土）
定員に達しましたので締切りました。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会（要予約）

期日：6月4日（土）～5日（日）
定員に達しましたので締切りました。

行事報告



1月15日(土、休) 本庄市 阪東大橋

参加: 40人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ ツクシガモ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ カワアイサ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ タゲリ ハマシギ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ホオジロ カシラダカ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 久しぶりの阪東大橋らしい風の強い探鳥会だった。着られるものはとりあえず全部着ていただき、厚着で出発した。だれも、何にも言わないけれど、今日のターゲットは「彼」しかいない。河原までコースを全力で進む。さ寒い!!……居た!!居ました。チャーンとツクシガモ君は待っていてくれました。全員で美しい姿を確認。アメリカコガモやトモエガモはおまけです。長野市から参加の金子御夫妻、遠路お疲れ様でした。(町田好一郎)

1月15日(土) ガン・カモ類一斉調査

ボランティア: 35人

荒木恒夫、石井 智、石井幸男、伊藤芳晴、内田千代子、榎本秀和、海老原教子、遠藤 薫、大武昭雄、神場真文、グレン・ブリチャード、小荷田行男、駒崎政雄、桜庭 勇、嶋田和江、諸徳寺四郎、高草木泰行、立岩恒久、手塚正義、中島郁夫、中島康夫、中村 治、橋口長和、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、町田好一郎、松井昭吾、三田長久、森本國夫、谷津弘子、柳原正昭、山崎宏治、山部直喜 御苦労様でした。

1月16日(日) 吉見町 吉見百穴周辺

参加: 48人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ノスリ コジュケイ バン オ

オバン タゲリ タシギ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 気温が上がらず寒い日。なかなか鳥が出ないでリーダーはやきもきしていたが、終わってみれば37種。大沼の2羽のオオバンや、久し振り登場のタゲリが頑張って探鳥会を盛り上げてくれた。(榎本秀和)

1月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 60人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ オオタカイカルチドリ タゲリ タカブシギ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ セグロセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ オオジュリン アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 新年らしく多数の参加者が鳥を楽しんだ。やはり、三室の鳥に“おめでとう”を言わないと、年が始まらないのだ。鳥たちも鳥見人に敬意を表して39種と勢ぞろい。今年も鳥は三室で決まり。(楠見邦博)

1月23日(日) 狭山市 入間川

参加: 16人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ トビ イカルチドリ ハマシギ イソシギ ユリカモメ キジバト アオゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボ

ソガラス ハシブトガラス (40種) 今季の入間川は、昨年に比べてカモの数、種類とも少し多め。久しぶりにハマシギの群れも見られた。今回の見どころセキレイの仲間は、河原で4種を確認したが、ピンズイだけ探鳥会終了後の登場となってしまった。(長谷部謙二)

1月29日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
ボランティア: 13人

赤塚義正、荒木恒夫、岩波勇一、海老原教子、角田真喜子、小林孝太郎、佐久間博文、篠原東彦、藤野富代、中村榮男、松元達夫、谷津弘子、渡辺喜八郎

1月29日(土) 群馬県 裏妙義
雪のため中止。

1月29~30日(土~日) 千葉県 銚子港
参加: 22人 天気: 曇後晴

オオハムsp. ハジロカイツブリ ミミカイツブリ カンムリカイツブリ ウミウ ヒメウ マガモ カルガモ ヒドリガモ アメリカヒドリ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ スズガモ ビロードキンクロ シノリガモ ホオジロガモ ハヤブサ ミヤコドリ シロチドリ ダイゼン トウネン ハマシギ ユリカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ ワシカモメ シロカモメ カモメ ウミネコ ミツユビカモメ ウミスズメ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ジョウビタキ イソヒヨドリ ツグミ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) 前日から降雪に見舞われ、どうなることかと思われたバスツアーだったが、40分遅れでとにかく出発。犬吠埼、銚子港、波崎新漁港と回って、カモメの基本8種はマスター。帰りには、船橋海浜公園にも立ち寄り、5羽のミヤコドリもチェック。終わってみれば「行ってよかった〜!」の探鳥会であった。惜しくも「sp.」付きとなった冬羽のオオハムや、ビデオ判定で確認した足の赤っぽい普通のミツユビカモメも楽しい思い出である。(榎本秀和)

1月30日(日) 長湍町 長湍
参加: 34人 天気: 晴

カイツブリ コサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ イカルチドリ イ

ソシギ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 前日の雪が残っていて道が歩きにくく、雪のせいか出現鳥も思ったよりも少なかったが、それでもオシドリ、カワセミともにゆっくり見られた。(佐久間博文)

2月5日(土) 大宮市 大宮市民の森
参加: 27人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ バン タシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ メジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 今回もまたまたカワセミ君が、しかもじっくり姿を見せてくれました。このところすっかり常連になったようです。好天にも恵まれて、小春日和の中の、のどかな探鳥会でした。(林 慎一)

2月6日(日) 深谷市 仙元山
参加: 43人 天気: 晴

カワウ コサギ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ピンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 『埼玉見て歩き・県北版』のコースを歩いた。瀧宮神社は駅のすぐ近くとは思えないほど静かで、小鳥たちも多い。アオジやヤマガラ、コゲラなどが見られ、大好評。唐沢川はセキレイが多く、キセキレイなどは食傷ぎみになるほど。仙元山では、ウグイスが目の前に現われてくれた。しかし、カケスやオナガの姿が見えず、少しさみしかったが、ようやく混群に出会い、メジロやキクイタダキが見られた。最後はピンズイをじっくり観察。おわび、①鳥合わせでルリビタキが抜けていました。②帰りに道を間違えた人がいるようで、次回は地図を用意します。(菱沼一充)

連絡中長

●大麻生定例探鳥会100回記念
バードウォッチングフェスティバル
今年のバードウィークイベントは、大麻生探鳥会100回記念フェスティバル。大麻生で観察できる野鳥たちを絵画や写真、ビデオなどで紹介しながら、野鳥たちがいきいきとさえずり、人々が豊かに生きられる自然の大切さを伝えます。

[期間] 5月7日(土) 正午から
5月15日(日) 午後5時まで
[会場] 熊谷駅ビルA2熊谷 4階カプセルプラザ(エスカレーターの横)

[出品のお願い] 大麻生の野鳥たちの写真、絵画などをお貸しください。パネルや額に入り、そのまま展示できる状態の作品を、7日(土)午前10時から11時ごろまでの展示作業中に会場に直接ご持参いただくか、前日までに支部事務局にお送りください。

大麻生で会える野鳥であれば、別の場所での作品でもかまいません。ただし、背景などから明らかに大麻生ではないと分かるものは困ります。

[お手伝いのお願い] 展示作業(前記)と撤去作業(15日午後5時から)をお手伝いくださる方は直接会場まで。土・日曜日を中心とした会場担当をお手伝いくださる方は、事前に事務局にご連絡を。役員リーダーに限らず、多くの方たちのご参加をお待ちしています。

別に手伝いはできないけど、ちょっと会場を覗いて見ようかという方も、大歓迎です。

●テレビでの普及活動など

テレビ埼玉、毎週水曜日の午後1時30分ころから、「彩チャンネル、とっておきの午後」という番組の中で約5分間、『野鳥』というレギュラーコーナーが始まりました。海老原事務局長が、自ら撮影したビデオで野鳥を紹介し、探鳥会などの案内もするものです。木曜日の同時刻に再放送も。放送時間帯は変わる事もあります。

NHKでは、「おはようオオタカ」「谷津干潟水鳥ウォッチング」に続き、埼玉県内での定点カメラ中継を準備中。これも海老原

務局長が企画段階から全面協力して、今の予定では、5月9日から毎週月曜日～土曜日の毎日、「おはよう日本」という番組の首都圏向け時間枠(午前7時30分～45分)の中で2～3分間、シジウカラの成長記録を、5月末ころまで連続放送する予定です。万一の事情で変更もありえますが。

●5月の土曜日当番(2時～6時)

- 7日 伊藤芳晴 永野康彦
- 14日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 21日 中村榮男 海老原教子(校正の日)
- 28日 袋づめの会(1時から)

●会員数は

4月1日現在 2,387人です

活動報告

3月5日～6日 関東ブロック会議に出席(榎本秀和、岡安征也、内藤義雄、町田好一郎)。同日 役員リーダー研修懇親旅行(福島県・茨城県方面)。

3月8日 埼玉県鳥獣保護員として福井恒人幹事再任を推薦する手続き。

3月19日 4月号校正作業(榎本秀和、海老原美夫、新堂克浩)。

3月20日 役員会議(司会・菱沼一充、全国野鳥密猟対策連絡会に福井幹事が出席する件、その他)。『野鳥見て歩き』第3回編集会議。

3月27日 秩父愛鳥会の見沼たんぼバス旅行に案内人として同行(海老原美夫、楠見邦博)。

編集後記

通勤途中の屋敷林で、ツミが営巣し始めているのを見つけた。当分事務所にとどり着く時間が長くなりそう。(海老原)

通勤途中の鉄橋で、チョウゲンボウが営巣し始めているのを見つけた。当分職場にとどり着く時間が長くなりそう。(山部)

出張先の車窓からケリを3羽見た。もっと見ていたかったけれども、列車が止まらず、時間どおりに帰って来てしまった。(森本)

『しらこぼと』1994年5月号(第121号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用